年間授業計画

永山 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科　地理歴史　科目 歴史総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　歴史総合　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（１組：　　）（２組：　　）（３組：　　）（４組：　　）

（５組：　　）（６組：　　）（７組：　　）（８組：　　）

使用教科書：（ 歴史総合 近代から現代へ（山川出版）　　）

教科　地理歴史　　の目標：

【知識及び技能】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている

【思考力、判断力、表現力等】近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】近現代の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとしている。よりよい社会の実現を視野に，自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに，次の学習へのつながりを見いだそうとしている。近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

科目　歴史総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1章　結びつく世界 【知識及び技能】 15～16世紀にかけてのヨーロッパ人による航海と世界への影響，ヨーロッパで成立した主権国家体制と、イギリスやフランスなど各国の国家の特徴について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパ人の海外進出によってアメリカ大陸とアフリカ大陸にもたらされた影響や、宗教改革とヨーロッパ人の海外進出の影響について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパにおける中央集権的な国家体制の成立と海外進出の結びつきを追究させる。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 15～16世紀にかけてのヨーロッパ人による航海と世界への影響、ヨーロッパで成立した主権国家体制と、イギリスやフランスなど各国の国家の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ヨーロッパ人の海外進出によってアメリカ大陸とアフリカ大陸にもたらされた影響や、宗教改革とヨーロッパ人の海外進出の影響について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパにおける中央集権的な国家体制の成立と海外進出の結びつきを追究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 【知識及び技能】 アメリカ独立革命とフランス革命の原因とその経過について理解させる。また、大西洋三角貿易を展開したイギリスが技術革新へと向かったことを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 アメリカ独立革命がその後の世界にあたえた影響を比較しながら、多面的・多角的に考察し、表現させる。また、産業革命による工業化や交通革命・通信革命などの変化について考察しようとさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 二つの革命の歴史的意義を見出させる。また、産業革命による人々の生活の変化を追究させる。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 アメリカ独立革命とフランス革命の原因とその経過について理解している。また、大西洋三角貿易を展開したイギリスが技術革新へと向かったことを理解している。 【思考・判断・表現】 アメリカ独立革命がその後の世界にあたえた影響を比較しながら、多面的・多角的に考察し、表現している。また、産業革命による工業化や交通革命・通信革命などの変化について考察しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 二つの革命の歴史的意義を見出そうとしている。また、産業革命による人々の生活の変化を追究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
2学期	第3章　明治維新と日本の立憲体制 ～第4章　帝国主義の展開とアジア 【知識及び技能】 大政奉還の上表以降、明治新政府が成立していった経緯や、大日本帝国憲法の成立過程を理解し、その下で成立した制度や諸法典の内容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 四民平等の原則により、同じ義務をもつ国民が形成され、徴兵や租税の徴収がどのようにして実施されたのか考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 大日本帝国憲法や諸法典が具体的にドイツ理論やフランス法からどのような影響を受けているかを追究させる。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 大政奉還の上表以降、明治新政府が成立していった経緯や、大日本帝国憲法の成立過程を理解し、その下で成立した制度や諸法典の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 四民平等の原則により、同じ義務をもつ国民が形成され、徴兵や租税の徴収がどのようにして実施されたのか考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大日本帝国憲法や諸法典が具体的にドイツ理論やフランス法からどのような影響を受けているかを追究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	第5章 第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】 第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 バルカン半島の地理的・民族的・宗教的な複雑さをもとに、バルカン諸国の対立が第一次世界大戦の開戦に影響をあたえたことを多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 パリ講和会議・ワシントン会議における各国の思惑が条約の内容にどのような影響をあたえたのか、国際連盟と国際協調路線のなかで結ばれた条約について、その成果と限界を追究させる。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 バルカン半島の地理的・民族的・宗教的な複雑さをもとに、バルカン諸国の対立が第一次世界大戦の開戦に影響をあたえたことを多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 パリ講和会議・ワシントン会議における各国の思惑が条約の内容にどのような影響をあたえたのか、国際連盟と国際協調路線のなかで結ばれた条約について、その成果と限界を追究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3学期	第6章 経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 第二次世界大戦のおこった背景を理解し、日本やヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかまとめさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ドイツを中心としたファシズムはどのようにして台頭してきたか、比較しまとめさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界恐慌は、国際秩序にどのような変化をもたらしたか、多面的・多角的に追究させる。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 第二次世界大戦のおこった背景を理解し、日本やヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかまとめている。 【思考・判断・表現】 ドイツを中心としたファシズムはどのようにして台頭してきたか、比較しまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌は、国際秩序にどのような変化をもたらしたか、多面的・多角的に追究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
							合計 105